

第14回 世界けん玉道選手権～藤原一生杯～ 選技規定

1 天地二段

<http://bit.ly/1rCeJkQ>

<http://bit.ly/1omXf63>

玉つきさし～中皿～玉つきさし。玉つきさしについては、けん玉の技123のp. 93を参照。

2 うずしお灯台

<http://bit.ly/1omWVVi>

うずしおは3回以上回すこと。けん玉の技123のp. 60を参照。

3 太陽系一周

<http://bit.ly/1omXFtv>

太陽極意～けん～宇宙一周。太陽極意については、けん玉の技123のp. 82、宇宙一周についてはけん玉の技123のp. 55を参照。

4 ピルエットつるしもち

<http://bit.ly/VOqyaC>

<http://bit.ly/1ox7bM6>

手拍子つるし持ちの要領で、体を1回転させる。けん玉は体の後ろから投げてはならない。体の前・後ろはかかととかかかとを結んだ線を基準として判断する。試技の際、主審の指示に従って、体の正面を副審1人に向けること。投げる手と取る手は同じであること。

5 胡蝶の舞

<http://bit.ly/1omXxKs>

円月殺法の回転でけんを取り、もう1回円月殺法の回転でけんを取ってふりけんをする。玉つきさしのようにしてはならない。けん玉の技123のp. 107を参照。

6 中皿金魚すくい～秘竜のぼりけん

<http://bit.ly/1rKmyFb>

5中皿で玉をすくう(中皿金魚すくい)。そこから秘竜のぼりけんを行う。中皿金魚すくいをした後に指を動かすことは認めないので、秘竜のぼりけんが行えるけんの持ち方をすること。秘竜のぼりけんについては、けん玉の技123のp. 52を参照。

7 二回転飛行機

<http://bit.ly/1omX8Ic>

<http://bit.ly/1n3xSsm>

「飛行機」の構えから、けんを前方にふり出し、けんを手前に二回転半させ、けん先を玉の穴に入れる。けん玉の技123のp. 43を参照。

8 月面着陸

<http://bit.ly/1omXleq>

玉を持ち、つり下げたけんを引き上げ、玉の上に、大皿を乗せる技。玉を持って構えたとき、大皿の下に糸を引っかけて持つてはならない。けん玉の技123のp. 63を参照。

9 掛け軸返しとめけん

<http://bit.ly/1omWwlU>

<http://bit.ly/VOqoPR>

人差し指に大皿のふちをかける。このとき親指で大皿を抑えてはならない。けんを一回転させてとめけんを行う。けんを取った時に、皿胴を持つてはならない。けん玉の技123のp. 36を参照。

10 スーパーフラミンゴ宇宙遊泳

<http://bit.ly/1rCdW3r>

<http://bit.ly/1pQMjTH>

宇宙遊泳の要領でけん玉を空中に投げ、けん玉を両足の下を連続で通し宇宙遊泳を決める。最後の飛行機の部分がすくいけんのようにしてはならない。